

「介護福祉士のあり方及びその養成プロセスの見直し等
に関する検討会」平成18年3月16日 資料2<別冊>

介護福祉士国家試験出題基準

財団法人社会福祉振興・試験センター
(平成14年7月5日)

介護福祉士国家試験出題基準

(1) 出題基準の基本的性格

出題基準は、試験委員が試験問題（課題）を作成するために用いる基準であることから、次のような基本的性格を有する。

- ア 出題基準は、あくまでも標準的な出題範囲の例示であって、出題範囲を厳密に限定するものではなく、また、作問方法や表現等を拘束するものではない。
- イ 出題基準公表後の法改正による制度の重大な変更等、出題基準にない事項であっても、介護福祉士として習得すべき事項については、出題することができる。
- ウ 関係学会等で学説として定まっていなかったり、論議が分かれているものについては、その旨を配慮した出題を行う。

(2) 大・中・小項目の位置付けと関係

- ア 大項目は、中項目を束ねる見出しであり、科目全体の範囲を示すとともに、出題の理念を示すものである。
- イ 中項目は、試験の出題内容となる事項であり、試験問題はこの範囲から出題されることとなる。なお、中項目は、出題基準として、試験問題の出題範囲という観点から配列されているため、学問的な分類体系とは必ずしも一致しない。
- ウ 小項目は、中項目に関する事項をわかり易くするために例示した事項である。
- エ 出題は、この出題基準に盛り込まれた事項に限定されるものではなく、法律、政省令等に規定されている事項、厚生労働白書などの広報を目的とした公刊物に記載されている事項などからも出題される。
- オ 実技試験課題は、出題基準の中項目に掲げられた項目から一課題として出題される。

(3) 試験科目別出題基準

試験科目別出題基準は、「別添」のとおりである。

試験科目別出題基準

筆記試験

社会福祉概論

大項目	中項目	小項目
1 現代社会と社会福祉の意義	1) 社会福祉の理念と概要	① 人権尊重 ② 権利擁護 ③ 自立支援 ④ 地域福祉の理念 ⑤ 社会福祉の動向
	2) 社会福祉の対象と主体	① 社会福祉の対象 ② 社会福祉の主体(担い手を含む。)
	3) 社会福祉の発展	① 諸外国 ② 日本
2 社会福祉の法体系と運営組織	1) 社会福祉法制の体系と概要	① 社会福祉法 ② 福祉六法
	2) 社会福祉の運営組織	① 運営組織(地域福祉推進組織を含む。)
	3) 社会福祉サービスの提供と利用	① 利用者保護制度
	4) 社会福祉の財政と費用負担	① 国の財源 ② 地方自治体の財源 ③ 民間の財源
	5) 社会福祉における公私の役割調整	① 国の役割 ② 地方自治体の役割 ③ 民間の役割
3 社会保障及び関連制度の概要	1) 社会保障の種類と概要	① 所得保障制度 ② 医療保障制度
	2) 関連制度と概要	① 介護保険制度 ② 雇用・就労制度の概要 ③ 住宅制度の概要 ④ 生涯教育制度の概要
4 社会福祉援助技術の概要	1) 社会福祉援助技術の発展	① 社会福祉援助技術の生成と発展
	2) 社会福祉援助技術の種類と概要	① 社会福祉援助技術の共通理念 ② 直接援助技術 ③ 間接援助技術 ④ 関連援助技術
5 福祉資格法の成立と目的	1) 社会福祉従事者と概要	① 社会福祉における専門職員 ② 介護福祉士の状況
	2) 社会福祉従事者と専門性	① 倫理 ② 専門職団体
	3) 福祉資格法の目的と内容	① 社会福祉士及び介護福祉士法 ② 精神保健福祉士法 ③ 関連資格法

老人福祉論

大項目	中項目	小項目
1 現代社会と高齢者問題	1) 少子高齢社会の到来と意義	① 人口構造の変化 ② 家族構造の変化
	2) 高齢者問題の顕在化	① 高齢者の問題 ② 高齢社会対策大綱 ③ 高齢社会対策基本法 ④ (新) ゴールドプラン ⑤ ゴールドプラン21 ⑥ 老人保健福祉計画
	3) 高齢者の生活実態と福祉需要	① 健康 ② 所得 ③ 介護 ④ 雇用・社会参加 ⑤ 住居
2 老人福祉法の概要	1) 老人福祉法の制定と改正の経過	
	2) 老人福祉法の内容	
3 介護保険法の概要	1) 介護保険制度の目的と仕組み	
	2) 介護保険法における給付サービス	① 居宅サービス ② 施設サービス
	3) サービスの利用手続き	① 要介護認定 ② 介護支援専門員の援助過程
4 老人保健法の概要	1) 老人保健制度の概要	
	2) 老人保健サービスの体系及び内容	① 老人医療 ② 医療以外の保健事業
5 高齢者に対する諸施策等	1) 年金制度	① 厚生年金 ② 国民年金
	2) 雇用制度	① 高齢者雇用安定法 ② シルバー人材センター
	3) 税制度	
	4) 成年後見制度と福祉サービス利用 援助事業	① 成年後見制度 ② 権利擁護事業
6 高齢者の生きがい・社会参加	1) 生きがいの考え方	
	2) 生きがい・社会参加の現状	① 老人クラブ ② 生涯学習
	3) 生きがい・社会参加の諸施策	① 老人クラブ ② 高齢者の生きがいと健康づくり
7 高齢者のための民間活動とシルバーサービス	1) ボランティア活動と社会福祉協議会	① ボランティア活動 ② ボランティアセンター
	2) 非営利民間活動の現状	① NPO法人(特定非営利活動法人) ② 住民参加型在宅福祉サービス
	3) 民間シルバーサービスの現状	① シルバーサービス ② 有料老人ホーム
8 保健・医療・福祉の総合的援助	1) 関連機関・施設と専門職	
	2) ケアマネジメントとチームアプローチ	
	3) 保健・医療・福祉の連携	

障害者福祉論

(注) 障害者には障害児を含む。

大項目	中項目	小項目
1 障害の概念と障害者の実態	1) 障害の概念	① 障害の種類と国際分類
	2) 障害者の法的定義	① 福祉施策、所得保障、災害補償等の各種施策における障害認定の相違点
	3) 障害者の実態	① 身体障害者 ② 知的障害者 ③ 精神障害者
2 障害者福祉の基本理念	1) 人権思想	① 人権尊重と権利擁護
	2) 自立とリハビリテーションの理念	① 自立の考え方 ② リハビリテーションの考え方 ③ エンパワメント ④ セルフヘルプグループ
	3) ノーマライゼーションの理念と「完全参加と平等」	① ノーマライゼーション ② バンク・ミケルセン ③ 国際障害者年の理念
	4) 福祉理念の発展と障害者基本法	① 障害者基本法 ② 社会福祉法
3 障害者福祉サービスの体系と内容	1) 障害者福祉サービスの発展	① 福祉施策の発展 ② 障害者プラン
	2) 障害者福祉サービスの概要	① 障害者福祉サービスの利用手続き ② 身体障害者に対するサービス ③ 知的障害者に対するサービス ④ 精神障害者に対するサービス
	3) 福祉関連施策	① 保健・医療 ② 教育 ③ 雇用・就労 ④ 年金・手当 ⑤ 住宅 ⑥ 生活環境（交通、情報通信、公共施設の整備） ⑦ 経済的負担の軽減（税制、公共料金、融資）
4 障害者への総合的援助	1) 関連機関・施設	
	2) チームアプローチの方法	
	3) 保健・医療・福祉・雇用・住居等の連携	

リハビリテーション論

(注) 障害者には障害児を含む。

大項目	中項目	小項目
1 リハビリテーションの考え方	1) リハビリテーションの歴史	① リハビリテーションの発展 ② 現代社会におけるリハビリテーションの需要
	2) リハビリテーションの概念及び基本原則	① リハビリテーションの概念 ② リハビリテーションの基本原則
	3) リハビリテーションにおける総合的サービス体系	
2 障害の程度とその様相	1) 老化による機能障害	
	2) 身体障害	① 肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、言語機能障害、内部障害
	3) 知的障害	
	4) 精神障害	
3 リハビリテーションの展開過程	1) リハビリテーション過程	① 相談と事前評価 ② リハビリテーション計画の作成 ③ 実施 ④ 実施後の評価
	2) 個人的特性の把握	
	3) 日常生活動作、日常生活関連動作評価	
	4) 職業評価	
	5) 社会参加の実現	
4 リハビリテーションの実際	1) 老化による機能障害	
	2) 身体障害	① 肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、言語機能障害、内部障害
	3) 知的障害	
	4) 精神障害	
5 地域リハビリテーション	1) 地域リハビリテーションの意義	
	2) 地域リハビリテーションの展開過程	
6 リハビリテーションと介護	1) 日常生活の自立支援及び社会生活能力の維持・拡大への援助	
	2) リハビリテーションの専門職と介護福祉士の連携	

社会福祉援助技術(演習を含む。)

(注) 障害者には障害児を含む。

大項目	中項目	小項目
1 介護福祉士と社会福祉援助技術	1) 社会福祉援助技術の概要	① 社会福祉援助技術の沿革 ② 社会福祉援助技術の構成 ③ 最近の理論動向 ④ スーパービジョン
	2) 介護と社会福祉援助技術の関係	① 介護専門職と社会福祉援助技術 ② ケアマネジメント ③ 施設介護と社会福祉援助技術 ④ 在宅介護と社会福祉援助技術
2 個別援助技術の理解	1) 個別援助技術の意義と機能	① 個別援助技術の原則 ② 個別援助技術の体系 ③ 個別援助技術と隣接領域の技術
	2) 個別援助技術の過程	① インテーク ② アセスメント ③ 援助計画の作成 ④ 援助活動の実施 ⑤ 援助活動の評価 ⑥ 終結
	3) 個別援助技術の手段	① 面接 ② 記録
3 集団援助技術の理解	1) 集団援助技術の意義と機能	① 集団援助技術の原則 ② 集団援助技術の体系
	2) 集団援助技術の過程	① 準備期 ② 開始期 ③ 実施期 ④ 終結期 ⑤ 評価
	3) 集団援助技術の手段	① 集団活動 ② 記録
4 間接援助技術の理解	1) 地域援助技術	① 地域援助技術の概念 ② 地域援助技術の過程
	2) 社会福祉調査	① 社会福祉調査の概念 ② 社会福祉調査の種類 ③ 統計調査 ④ 事例調査
	3) その他の間接援助技術・関連援助技術	① 社会福祉運営管理 ② ネットワーク ③ チームワーク ④ ボランティア活動のコーディネーター
5 事例に基づく個別援助技術の実際	1) 老人・障害者の介護場面における個別援助技術活用	
6 事例に基づく集団援助技術の実際	1) 老人・障害者の介護場面における集団援助技術活用	
7 具体的な事例や援助場面を想定した援助過程の展開	1) 事例に基づく、居宅サービス計画及び施設サービス計画の作成過程	

レクリエーション活動援助法

大項目	中項目	小項目
1 レクリエーションの基本的理解	1) レクリエーションの概念	① レクリエーションの起源 ② レクリエーションの歴史
	2) 社会生活の中でのレクリエーション	① 地域生活の中でのレクリエーション ② 施設におけるレクリエーション
2 レクリエーションの活動領域と意義	1) レクリエーションの活動領域	① 地域社会 ② 学校教育 ③ 職場 ④ 社会福祉分野
	2) 社会福祉におけるレクリエーションの意義	① 社会福祉サービスとしてのレクリエーション ② 自己実現とレクリエーション
	3) 利用者にとってのレクリエーションの意義	① 施設の利用者にとってのレクリエーション ② 在宅の利用者にとってのレクリエーション
	4) レクリエーション計画の作成	① 施設の利用者に対するレクリエーション ② 在宅の利用者に対するレクリエーション
3 レクリエーション活動の主体	1) 個人とレクリエーション	① QOL (生活の質)
	2) 集団とレクリエーション	① 集団とレクリエーションの意義 ② 集団とレクリエーション活動援助法 ③ 集団の力動性の活用
	3) 利用者のニーズに基づくレクリエーション活動	
	4) レクリエーション活動を実施する条件	① 物的資源を活用したレクリエーション活動 ② 人的資源を活用したレクリエーション活動 ③ 利用者の身体的・精神的資源を活用したレクリエーション活動
4 レクリエーション活動援助計画の作成及び実施	1) レクリエーション活動援助の理念と目的	① 利用者のニーズとレクリエーション活動援助計画 ② 利用者を取りまく組織づくりとレクリエーション活動援助計画 ③ 利用者を取りまく環境整備とレクリエーション活動援助計画
	2) レクリエーション活動援助計画の作成実施上の配慮	① 利用者の把握 ② 設備、用具の確認、点検、活用 ③ 安全管理と危機管理 ④ 予算と使途計画
5 レクリエーション活動援助者の役割	1) 施設における援助者の役割	
	2) 在宅における援助者の役割	
	3) レクリエーション活動におけるチームワーク	① レクリエーション活動援助者間のチームワーク ② 他専門職とのチームワーク
	4) 治療的レクリエーション活動	① レクリエーション療法の理論と応用 ② セラピューティックレクリエーションの活用
6 レクリエーション活動援助の実際	1) 事例検討	

老人・障害者の心理

(注) 障害者には障害児を含む。

大項目	中項目	小項目
1 人間の成長発達と心理的理解	1) 発達段階の区分	① ピアジェ、エリクソン、フロイト
	2) 老年期の発達課題	① 老年期の発達課題、発達現象
	3) 人間の心理的理解	
2 老化とその心理的影響	1) 老化の概念	① 老化と老年期 ② 生物学的老化説 ③ 加齢に伴う変化
	2) 老化が及ぼす心理的影響	① 老年期の知能 ② 精神機能の老化 ③ 記憶の老化 ④ 知能の老化
	3) 老化と適応	① 人格特性と適応 ② 生活適応 ③ 社会適応
	4) 老年期の主な精神障害とその対応方法	① うつ状態 ② せん妄 ③ 幻覚・妄想状態 ④ 認知症
	5) 認知症高齢者の症状と心理的対応	① 心理劇 ② 回想法 ③ 音楽療法 ④ リアリティオリエンテーション
3 障害とその心理的影響	1) 障害と障害者	① 障害とは ② 障害の種類 ③ 障害の程度
	2) 障害が及ぼす心理的影響	
	3) 障害の形態と心理的影響	
	4) 障害の受容	
	5) 適応と適応規制	
4 高齢者、障害者への対応	1) 臨床心理の方法	
	2) 社会的対応	
	3) 個別的対応	
	4) リハビリテーション	
	5) レクリエーション	
	6) カウンセリング	
	7) その他の療法	

家政学概論

(注) 障害者には障害児を含む。

大項目	中項目	小項目
1 家庭生活の経営	1) 家庭生活の意義	① 家庭生活の特質 ② 現代社会の家庭生活 ③ 高齢者、障害者と家庭生活
	2) 家庭生活と家庭経営	① 生活主体と家庭経営 ② 個人のライフコースと家庭周期 ③ 家庭経営の基本 ④ 家庭経営と地域活動
	3) 家庭経営と資源管理	① 生活資源の考え方 ② 家族の生活と時間 ③ 家庭の情報処理と管理 ④ 生活の危機・危機管理 (リスクマネジメント)
	4) 家事と生活と介護	① 家事労働と介護労働 ② 高齢者の生活時間と介護労働 ③ 疲労と作業 (労働) の効率化 ④ 家事・介護援助と作業管理
	5) 家庭経済	① 家庭経済と国民経済と環境 ② 家計管理 (収支と資産・負債管理) ③ 高齢者・障害者の家計 ④ 高齢者の消費生活と福祉サービスの消費
2 栄養と調理	1) 食生活の意義	
	2) 身体の機能と栄養	① 栄養素と機能 ② 栄養素の消化吸収と代謝
	3) 食品	① 食品の栄養素による分類 ② 食品の特性 ③ 食品の保存 ④ 食品の安全性
	4) 調理	① 献立作成 ② 調理の手法 ③ 食品の調理 ④ 調理器具
	5) 高齢者、障害者の食生活	① 高齢者の心身の特徴と栄養 ② 高齢者の食生活 ③ 障害者の栄養と食生活 ④ 生活習慣病と食生活
3 衣生活	1) 被服の役割と機能	① 被服の役割 ② 被服の機能 ③ 衛生、安全性からみた衣生活
	2) 被服の素材	① 繊維の種類と性質 ② 布地の組織と性能
	3) 被服の選択と管理	① 被服の選択、品質の表示 ② 被服の管理
	4) 高齢者、障害者の衣生活	① 高齢者の心身の特徴と衣生活 ② 障害に応じた被服の工夫 ③ 高齢者・障害者の寝衣と寝具
4 住生活	1) 住居の役割と機能	① 住居の役割・機能 ② 家族・ライフサイクルと住居 ③ 住居と地域
	2) 生活行動と生活空間	① 生活行為・行動と住宅 ② 平面設計 ③ 生活空間 (台所、浴室、トイレ) ④ 交通・収納空間
	3) 快適な室内環境	① 光の調節 ② 温・湿度の調節 ③ 音の調節 ④ 換気 ⑤ 日常清掃
	4) 住宅の管理と安全	① 住宅の管理・営繕 ② 生活と衛生・住宅管理 ③ 災害・事故管理

大項目	中項目	小項目
	5) 高齢者、障害者と住居	① 住まい方の形態 ② 建築的な対応 ③ 住宅改修 ④ 集合住宅 ⑤ バリアフリー、ユニバーサルデザインと住居、地域環境

医学一般

(注) 障害者には障害児を含む。

大項目	中項目	小項目
1 人体の構造と機能	1) 人体の基本 2) 血液・循環器系 3) 呼吸器系 4) 神経系 5) 消化器系 6) 腎・泌尿器系 7) 内分泌・代謝系 8) 筋・骨格系 9) 感覚器系 10) 生殖器系	
2 代表的な疾患の概要	1) 循環器・血液疾患	① 高血圧症 ② 虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞) ③ 心不全 ④ 不整脈 ⑤ 閉塞性動脈硬化症 ⑥ 貧血
	2) 神経・筋疾患	① 脳血管障害(脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血) ② 筋萎縮性側索硬化症 ③ パーキンソン病 ④ 脊髄小脳変性症 ⑤ シヤイ・ドレーガー症候群 ⑥ アルツハイマー型痴呆、脳血管性痴呆、ピック病 ⑦ 筋ジストロフィー症
	3) 消化器疾患	① 胃・十二指腸潰瘍 ② 肝炎 ③ 肝硬変
	4) 呼吸器疾患	① 肺炎 ② 肺結核 ③ 慢性閉塞性肺疾患 ④ 肺線維症 ⑤ 肺癌
	5) 腎・泌尿器疾患	① 尿路感染症 ② 前立腺肥大症と癌 ③ 排尿障害(尿失禁・排尿困難) ④ 腎不全
	6) 内分泌・代謝疾患	① 甲状腺疾患 ② 糖尿病 ③ 高脂血症 ④ 痛風
	7) 精神疾患	① 統合失調症(精神分裂病) ② 躁うつ病 ③ 神経症 ④ てんかん ⑤ アルコール依存症
	8) 先天性疾患	① 遺伝性疾患 ② 染色体異常
	9) 各種感染症	① インフルエンザ ② 肺炎 ③ 肝炎 ④ 食中毒、病源性大腸菌感染症 ⑤ MRSA感染症 ⑥ 日和見感染症 ⑦ エイズ ⑧ 小児ウイルス感染症の成人罹患
	10) 運動器疾患	① 骨粗鬆症 ② 骨折 ③ 変形性関節症 ④ 慢性関節リウマチ ⑤ 後縦靭帯骨化症 ⑥ 脊柱管狭窄症

大項目	中項目	小項目
	11) 感覚器疾患	① 白内障 ② 緑内障 ③ 老人性難聴
	12) 悪性腫瘍(癌)	① 各臓器ごとの悪性腫瘍の概要
	13) 生活習慣病	① 各生活習慣病の概要
	14) 難病	① 各難病の概要
	15) 早老症	① ウェルナー症候群
3 加齢、老化	1) 加齢による臓器・機能の変化と特徴	① 各臓器の変化
	2) 高齢者の疾患の概要とその特徴	① 非定型的症状 ② 多臓器疾患
	3) 廃用症候群	
4 公衆衛生の動向	1) 人口動態	
	2) 疾病と受療状況	① 健康状態 ② 疾病構造の変化 ③ 受療状況 ④ 入院期間
	3) 医療関係者の状況	① 医師 ② 歯科医師 ③ 薬剤師 ④ 保健師、助産師、看護師 ⑤ 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
	4) 医療施設の現状と機能	① 病院 ② 一般診療所 ③ 歯科診療所
	5) 医療保険制度の概要	① 健康保険法 ② 国民健康保険法 ③ 老人保健制度
5 保健医療対策の概要	1) 保健医療対策	① 老人保健医療対策 ② 精神保健医療対策 ③ 生活習慣病対策 ④ 感染症対策 ⑤ 難病対策
6 医事法制	1) 保健・医療・介護関係法規	① 医療法 ② 医師法 ③ 保健師助産師看護師法 ④ 医事法制の概要
7 医療との連携	1) 介護と医療	① チーム医療 ② 在宅医療 ③ 緊急時の対応

精神保健

(注) 障害者には障害児を含む。

大項目	中項目	小項目
1 精神保健の概要	1) 精神保健の意義	① 精神保健の意義 ② 精神保健活動の内容
	2) 現代社会における精神保健の役割	① 現代社会の状況 ② 精神保健の重要性 ③ 介護と精神保健
	3) 精神保健の動向	
2 ライフステージと精神保健の概要	1) 乳幼児期・児童期における精神保健	① 乳幼児期や児童期に発症する行動や情緒の障害 ② 出現しやすい症状
	2) 思春期における精神保健	① 思春期に発症する行動や情緒の障害 ② 出現しやすい症状
	3) 成人期における精神保健	① 成人期に発症する行動や情緒の障害 ② 出現しやすい症状
	4) 老年期における精神保健	① 老年期に発症する行動や情緒の障害 ② 出現しやすい症状
	5) ターミナルケアにおける精神保健	① ターミナルケアのあり方
3 生活環境と精神保健の概要	1) 家庭における精神保健	① 家庭での問題と背景
	2) 学校教育における精神保健	① 学校での問題と背景
	3) 職場における精神保健	① 職場での問題と背景
	4) 地域における精神保健	① 地域での問題と背景
	5) 医療・福祉施設における精神保健	① 医療・福祉施設での問題と背景
4 精神障害の基礎知識	1) 精神障害の定義	① 精神障害の定義 ② 精神障害の原因と分類 ③ 精神症状の発現 ④ 心理検査法 ⑤ 精神疾患の主な治療
	2) 代表的な精神障害	① 躁うつ病 ② 統合失調症（精神分裂病） ③ 神経症 ④ 心身症 ⑤ アルコールと薬物依存 ⑥ 知的障害 ⑦ てんかん ⑧ 摂食障害 ⑨ 睡眠障害
	3) 認知症疾患	① 定義 ② 原因による分類 ③ 出現頻度 ④ 症状と問題行動 ⑤ 対応の原則
5 精神保健福祉制度の概要	1) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の概要	
	2) 精神保健福祉の理念	① 精神障害者と人権擁護 ② 精神障害者の社会復帰
	3) 精神保健福祉関係機関	
	4) 精神保健福祉士の役割と介護との連携	① 精神保健福祉士の役割 ② 介護との連携

介護概論

(注) 障害者には障害児を含む。

大項目	中項目	小項目
1 介護の目的	1) 介護の倫理	① 介護従事者の倫理 ② 社会福祉士及び介護福祉士法による倫理(守秘義務、信用失墜行為の禁止等) ③ 倫理綱領
	2) 介護の原則	① 介護の定義 ② 介護の理念 ③ 介護の対象
	3) 介護の歴史と介護提供の場	① 介護の歴史(少子高齢、家族機能の低下、介護の社会化、介護の専門化) ② 関連法制度の理解 ③ 全人的介護、予防介護、終末期介護 ④ 組織的アプローチ(施設の組織体制、危機管理)
2 介護、家政及び看護・医療との連携	1) 自立的な生活維持に対する需要と介護機能	① 日常生活の理解 ② 自立支援と介護の機能
	2) 高齢者、障害者の生活障害と介護の役割	① 高齢者・障害者と生活障害 ② 高齢者の主な疾患、症状と生活障害 ③ 生活障害への介護の役割
3 介護援助関係	1) 援助関係の基本	① コミュニケーション ② 信頼関係 ③ 自己認識
	2) 利用者の特性	① 高齢者・障害者の身体的・心理的・社会的特性
	3) 援助者の役割	① 相談・援助過程の理解 ② 相談・援助と介護の役割
4 介護過程の概要	1) 介護過程	① 介護過程の理解 ② チームワークと介護過程
	2) 介護過程の展開技法	① 観察 ② アセスメント ③ 介護計画の立案 ④ 実施 ⑤ 評価
5 介護援助の方法	1) 利用者の自立支援と介護技法	① 介護技法の基本 ② 自立支援の個別性・多様性と介護技法
	2) 住生活環境の整備	① 居住環境の整備 ② 居住環境整備の方法及び条件 ③ 住宅改修と福祉用具
	3) 身体的生活援助	① 入浴 ② 食事 ③ 排泄 ④ 睡眠 ⑤ 衣服の着脱 ⑥ 運動と移動 ⑦ 安楽と安寧
	4) 社会生活維持と拡大	① 生活障害、日常生活の調整、介護技法 ② 居住環境など生活環境の調整と介護技法 ③ 家族を含めた生活支援の介護技法
	5) 生活リズムと健康習慣	
	6) 家族の生活維持援助	
	7) 緊急・事故時の対応	① 主な緊急・事故と対応 ② 緊急・事故と介護の役割 ③ 緊急・事故時の体制づくり
	8) 医療・看護対応時及び服薬時における介護	① 医療・看護の機能と介護の役割 ② 服薬時の介護の役割と援助

大項目	中項目	小項目
	9) 終末期の介護	① 終末期の定義 ② 終末期にある人の援助と介護の役割 ③ 家族の援助と介護の役割 ④ チームケアの援助と介護の役割 ⑤ 在宅における看取りの援助と介護の役割
6 介護関係維持のための技法	1) 健康や生活の観察技法	① 健康に関する観察の要点と技法 ② 生活に関する観察の要点と技法
	2) コミュニケーションの技法	① 言語的コミュニケーション ② 非言語的コミュニケーション
	3) 記録と情報の共有化の技法	① 記録の意義と目的 ② 記録の種類 ③ 記録の書き方 ④ 情報の共有化の目的・方法
	4) 医師・看護師・保健師等医療専門職との連携のあり方	① 法令に基づく連携 ② 各職種や機関・施設の役割機能 ③ 関係機関・施設との連携
	5) 福祉専門職、機関との連携	① 法令に基づく連携 ② 各職種や機関・施設の役割機能 ③ 関係機関・施設との連携
7 介護活動の場に応じた介護の目的及び内容	1) 家庭	
	2) 入所施設	
	3) 短期入所施設	
	4) 通所施設	
8 介護者の安全	1) 心身の健康管理	
	2) 腰痛、感染症等対策	
	3) 事故防止と対策	
	4) 労働安全	① 関連法制度

介護技術

大項目	中項目	小項目
1 コミュニケーションの技法	1) 傾聴	① コミュニケーションの過程と自己開示 ② 傾聴の技法
	2) 面接時の洞察、共感の技法	① 洞察を深める技法 ② 共感の技法
	3) 言葉や身ぶりの理解と問題確認の技法	① 感情表現の理解 ② 言語的コミュニケーションの技法 ③ 非言語的コミュニケーションの技法
	4) 自己の役割を伝え、納得と合意を得る表現技法	① コミュニケーション技法の効果と介護の役割
2 状態の変化の確認と不調のきざしの発見の技法	1) 健康状態の観察とアセスメント	① 眠り方や目覚めの状態の変化 ② 体温、脈拍、呼吸、皮膚の状態の変化 ③ 嚥下の状態や排泄物の変化 ④ 視覚、聴覚及び知覚の変化 ⑤ 姿勢や動作能力の変化
	2) 知的・心理状態の観察とアセスメント	① 感情の変化 ② 状態に対する理解力、判断力の変化
3 居住環境の整備	1) 住まいの整備	① 移動スペースに応じた住まいの配置、位置、高さ ② 浴室、トイレ、台所等の住管理 ③ プライバシー空間の必要性と設営の工夫
	2) 衣類・寝具の衛生管理	① 衣類の衛生管理 ② 寝具の衛生管理
4 福祉用具の概要と活用	1) 福祉用具の意義、概要	
	2) 福祉用具の選択、活用及び管理に関する援助	① 福祉用具の選択 ② 福祉用具の活用及び管理
5 社会生活維持拡大への技法	1) 歩行介助	① 杖歩行時の介助
	2) 車いす、ストレッチャー介助	① 車いす、ストレッチャー介助 ② 車いす、ストレッチャーの構造
	3) ベッド上の座位、立位の介助	① ベッド上の座位 ② 立位介助
	4) 機能維持のための訓練への援助	① 訓練の種類 ② 援助方法
	5) 外出の援助	① 外出時の条件と移動方法の選択 ② 車いすによる外出時の援助 ③ 外出時の事故の防止
6 食事	1) 食事の介助	① 楽しく食事できる食事場所や食器等用具の整え ② 姿勢や口の状況に適した介助 ③ 好みへの配慮と食事量の観察 ④ 誤嚥予防 ⑤ 脱水予防
7 排泄	1) 排泄の介助	① トイレでの排泄介助 ② ポータブルトイレ、便器、尿器による排泄介助とプライバシーの保護 ③ 排泄の自立度に応じた衣類寝具の選択と介助 ④ 失禁時の対応と、排泄自立への配慮と介助 ⑤ 便秘、下痢等の対応 ⑥ おむつ交換
8 睡眠	1) 睡眠の介助	① 睡眠の働き ② 睡眠のアセスメント ③ 安眠の介助

大項目	中項目	小項目
9 衣服の着脱	1) 衣服の着脱の介助	① 衣服の意義と衛生管理 ② 衣服の素材と形態の理解 ③ 障害のある利用者の衣服着脱の援助
10 入浴	1) 入浴の介助	① 入浴の意義 ② 入浴のアセスメント ③ 家庭浴槽での入浴介助 ④ 一般浴 ⑤ 機械浴
11 安楽と安寧の技法	1) 安楽な体位と用具の使い方	① 仰臥位 ② 側臥位 ③ 半座位 ④ 端座位 ⑤ 椅座位
	2) マッサージ	① マッサージの種類と効果 ② マッサージの技法と手順
	3) 部分浴とあん法	① 手浴、足浴 ② あん法の種類と方法
12 身体の清潔	1) 身体の清潔の介助	① 清潔の意義 ② 清潔保持のアセスメント ③ 全身清拭 ④ 口、目、耳、鼻、頭髮、爪等の清潔保持
	2) 褥瘡の予防的対処	① 褥瘡の原因 ② 褥瘡の予防
13 医療、看護対応時の介助	1) 受診時の介助	① 受診の準備 ② 受診・検診時の援助 ③ 報告と記録
	2) 食事や用具の管理と介助	① 治療食
	3) 薬の管理と服薬時の介助	① 薬の管理方法 ② 内服薬、坐薬、軟膏の介助
14 緊急・事故時の対応	1) 応急手当	① 誤嚥 ② 呼吸困難 ③ 骨折 ④ 外傷
	2) 事故時の対応と保健・医療・福祉関係者等への連絡	① 事故時の観察、体位、保温 ② 関係者への連絡・通報内容
15 記録と報告	1) 記録の種類と方法、保管	① 記録の意義と目的 ② 記録の種類 ③ 記録の方法 ④ 記録の管理
	2) 報告の方法	① 報告の意義と目的 ② 報告の方法
16 介護過程の実際	1) 事例検討	① 状況把握 ② アセスメント ③ 介護計画の作成 ④ 実施 ⑤ 実施後の評価

形態別介護技術

(注) 障害者には障害児を含む。

大項目	中項目	小項目
1 高齢者、障害者の行動様式に対応した介護のあり方	1) 生活環境及び状況に対する理解	① 高齢者の望ましい生活環境 ② 高齢者の望ましい地域環境 ③ 加齢による身体的変化と障害 ④ 加齢による精神活動の変化と障害 ⑤ 精神活動に影響を与える因子 ⑥ 廃用症候群 ⑦ 高齢者の疾病の特徴 ⑧ 脱水により起こりやすい疾患 ⑨ 薬物の影響
	2) 情緒的反応から生ずる介護の問題と対応	① 孤独 ② 抑うつ状態 ③ 無気力 ④ 自殺 ⑤ 閉じこもり
	3) 老いることや障害に起因する生活行為の不自由さから生ずる介護の問題と対応	① 虚弱高齢者に対する介護 ② 寝たきりの予防 ③ 健康管理 ④ 閉じこもりの予防
2 家族形態別にみた生活障害と介護	1) ひとり暮らしの高齢者や障害者の自立生活への援助	① 介護予防 ② リスク管理と緊急時の対応 ③ 家事援助 ④ 身辺介護 ⑤ 社会関係の維持 ⑥ 健康管理 ⑦ 諸サービスの活用 ⑧ ソーシャルサポートネットワーク
	2) 高齢者世帯の自立生活への援助	① 介護予防 ② リスク管理 ③ 家事援助 ④ 身辺介護 ⑤ 社会関係の維持 ⑥ 健康管理 ⑦ 諸サービスの活用 ⑧ ソーシャルサポートネットワーク
	3) 介護機能の低下した家族における介護に関する問題と対応	① 虐待 ② 家族崩壊 ③ 寝たきり・閉じこもり ④ 高齢者の自殺 ⑤ 施設入所に伴う家族の心理
3 寝たきり高齢者の介護	1) 寝たきりの原因となる疾病や障害の基礎知識	① 寝たきり高齢者の定義 ② 寝たきりの原因 ③ 寝たきり高齢者の理解 ④ 寝たきりによる身体への影響 ⑤ 寝たきりによる精神機能への影響 ⑥ 合併症予防 ⑦ 終末期の介護
	2) 寝食分離の意義と介護に関する問題と対応	① 寝食分離の意義 ② 寝たきり高齢者の介護の原則 ③ 離床の援助 ④ 寝たきり高齢者の介護 食事、排泄、保清、体位変換、衣服の着脱、環境調整、移動・移乗、褥瘡の予防 ⑤ 終末期の介護 ⑥ 応急処置の方法
	3) 残存機能の活用と介護に関する問題と対応	① リハビリテーション介護 ② 各種専門職との連携 ③ ADL（日常生活動作）の拡大とQOL（生活の質）の向上 ④ 意欲・生きがいを引き出す介護 ⑤ レクリエーション活動

大項目	中項目	小項目
4 認知症高齢者の介護	1) 認知症の原因となる疾病や障害の基礎知識	① 認知症の定義 ② 認知症の原因 ③ 主な認知症疾患とその特徴 ④ 認知症高齢者の心理的変化 ⑤ 認知症高齢者の日常生活
	2) 情報障害や行動障害に関する基礎知識	① 接し方の基本 ② 不適応行動への対応 ③ 精神症状への対応
	3) 認知症高齢者の介護における知識	① 認知症高齢者の介護の原則 ② 認知症高齢者への日常生活の支援 ③ 認知症高齢者の家族への援助 ④ 事故防止 ⑤ 住環境の整備 ⑥ 虐待・身体拘束
5 視覚障害者の介護	1) 視覚障害と関連医学領域の知識	① 目の構造・機能 ② 視覚障害の概念 ③ 眼疾患とその特徴 ④ 障害の特性 ⑤ 中途失明の原因 ⑥ 視覚障害者の心理 ⑦ 視覚障害者の日常生活
	2) 視覚障害者の介護に関する問題と対応	① 視覚障害による介護問題 ② 視覚障害者に対する介護の原則 ③ コミュニケーション ④ 視覚障害者への介護
	3) 残存感覚機能の特性と活用	① 人間の感覚情報 ② 感覚機能の特徴 ③ 残存感覚情報の活用
	4) 視覚の代行と福祉用具	① 手引き歩行の援助 ② コミュニケーション手段 ③ 福祉用具の理解
	5) 視覚障害を伴う重複障害	
6 聴覚障害者、言語機能障害者の介護	1) 聴覚障害、言語機能障害と関連医学領域の知識	① 耳の構造・機能 ② 音声器官と言語機能障害 ③ 聴覚障害者、言語機能障害者の心理 ④ 聴覚障害者の日常生活 ⑤ 言語機能障害者の日常生活 ⑥ 老人性難聴 ⑦ 感音性難聴 ⑧ 伝音性難聴
	2) 聴覚障害、言語機能障害の介護に関する問題と対応	① 難聴者のコミュニケーション障害 ② 中途失聴者のコミュニケーション障害 ③ 言語機能障害者のコミュニケーション障害 ④ 情報の不足 ⑤ 情緒的な交流の不足 ⑥ 家庭生活上の問題 ⑦ 社会生活上の問題 ⑧ 職場での問題 ⑨ 難聴の高齢者への介護
	3) 残存感覚機能の特性と活用	① 人間の感覚情報 ② 感覚機能の特徴 ③ 残存感覚情報の活用
	4) 聴覚、言語機能の代行と福祉用具	① 補聴器 ② コミュニケーション手段 ③ 福祉用具
	5) 聴覚障害、言語機能障害を伴う重複障害	

大項目	中項目	小項目
7 肢体不自由者の介護	1) 肢体不自由（運動機能障害）と関連医学領域の知識	① 運動機能障害の定義 ② 運動機能障害がある人の特性 ③ 障害の受容過程 ④ 運動機能障害とその特性 ⑤ 廃用症候群 ⑥ 肢体不自由（運動機能障害）者の心理 ⑦ 肢体不自由（運動機能障害）者の日常生活
	2) 肢体不自由の介護に関する問題と対応	① 高齢障害者の増加 ② ADL（日常生活動作）の障害 ③ コミュニケーション障害 ④ 移動の障害 ⑤ 住環境整備の必要性 ⑥ 福祉用具の活用の必要性
	3) 残存機能の特性と活用	① 潜在能力の開発 ② 健側の活用 ③ リハビリテーション
	4) 機能の代行と福祉用具	① 自助具 ② 介護用車いす ③ 移動用介護機器 ④ 移乗用介護機器 ⑤ その他の福祉用具
	5) 肢体不自由を伴う重複障害	
8 内部障害者の介護	1) 内部障害と関連医学領域の知識	① 内部障害の定義 ② 内部障害の理解 ③ 内部障害者の心理 ④ 内部障害者の日常生活
	2) 内部障害の介護に関する問題と対応	① 自己管理 ② 器具の管理 ③ 内部障害者のQOL（生活の質） ④ 心臓機能障害者への介護 ⑤ 呼吸器機能障害者への介護 ⑥ じん臓機能障害者への介護 ⑦ 直腸・膀胱障害者への介護
	3) 器具の理解	① ペースメーカー・人工弁 ② 人工肛門・人工膀胱 ③ 人工呼吸器 ④ 在宅酸素療法 ⑤ 人工透析 ⑥ 経管栄養 ⑦ 腹膜環流 ⑧ IVH（高カロリー輸液）
	4) 内部障害を伴う重複障害	
	5) 保健・医療関係者等との連携	① 緊急時の対応 ② 医療行為と介護行為 ③ 連携の必要性和実際 ④ 内部障害者に係わる専門職種
9 精神障害者の介護	1) 精神障害者の介護に関する問題と対応	① 精神障害の基礎知識 ② 精神障害者に対する介護の方法 ③ 社会復帰施設での介護 ④ 在宅での介護
	2) 精神保健・医療・福祉関係者との連携	① 精神障害のある人に係わる専門職 ② 服薬の管理 ③ 受診への動機づけ ④ 受診同行
	3) 日常生活介護と保健・医療関係者等との連携	① 健康管理 ② 身辺管理 ③ 家事管理 ④ 連携の実際
	4) 精神障害を伴う重複障害	

大項目	中項目	小項目
10 知的障害者の介護	1) 知的障害からくる特性と対応	① 知的障害の基礎知識 ② 知的障害を有する人への介護 ③ 認知障害のある人への介護 ④ 自閉的傾向を有する人への介護
	2) 日常生活介護とコミュニケーション	① 発達段階に応じた介護の特徴 ② 食事の介護と自立支援 ③ 排泄の介護と自立支援 ④ 着脱衣の介護と自立支援 ⑤ 自己実現・社会参加への援助 ⑥ 強度行動障害の援助
	3) 知的障害を伴う重複障害	
	4) 家族への援助	① 疾病の予防 ② 疾病の早期発見 ③ 健康管理上の配慮
11 居宅での介護	1) 個別の生活環境に対応した介護の工夫	① 居宅介護の特徴 ② 居宅介護の原則 ③ 居住環境の整備 ④ 居宅での事故 ⑤ 居宅介護の方法
	2) 家族への援助	① 家族介護者の理解 ② 家族介護者の支援 ③ 家族介護力の向上 ④ 介護方法についての指導
	3) 保健・医療・福祉関係者等との連携	① 緊急時の対応 ② 情報の共有化 ③ 目標の共有化 ④ 連携の取り方
12 形態別介護技術の実際	1) 事例検討	

実技試験

実技試験

大項目	中項目	小項目
1 介護の原則	1) 安全・安楽	① 転落・転倒・強打の防止 ② 麻痺側の保護 ③ 誤嚥の予防
	2) 自立支援	① 残存機能の活用 ② 意欲の促進
	3) 個人の尊厳	① コミュニケーション ② 事前の説明と承諾 ③ 自己決定 ④ 接遇（言葉遣い・態度）
2 健康状況の把握	1) 利用者の健康状況の把握	① 外見（観）の変化を察知する観察 ② 意識（反応）状況の変化を察知する能力 ③ 体温、脈拍、呼吸の測定
	2) 介護者の健康管理	① ボディ・メカニクス ② 感染予防
3 環境整備	1) 室内環境	① 換気 ② 温度、湿度 ③ 冷暖房 ④ 清潔 ⑤ 採光
	2) ベッド	① ベッドの機能 ② ベッドメイキング、リネン交換
4 身体介護	1) 体位と体位変換	① 体位の種類 ② 体位（身体）の保持と膝折れ防止 ③ テコの原理、ボディ・メカニクスの活用 ④ 体位の変換
	2) 移乗動作	① 車いす ② ポータブルトイレ ③ ストレッチャー ④ 椅子
	3) 移動・歩行介助	① ベッド上での移動 ② 車いす、ストレッチャーでの移動 ③ 肢体不自由者の歩行介助 ④ 視覚障害者の歩行介助
	4) 食事の介助	① 食事の種類と介助 ② 食前の介助 ③ 摂食の介助 ④ 食後の介助
	5) 排泄の介助	① トイレ及びポータブルトイレへの誘導と介助 ② 便器・尿器の介助 ③ おむつの介助
	6) 保清の介助	① 清拭 ② 入浴・シャワー浴 ③ 足浴・手浴 ④ 洗面 ⑤ 口腔ケア・義歯の取り扱い ⑥ 洗髪
	7) 衣服の着脱	① 衣服の着脱 ② 寝衣の交換 ③ 衣服のたたみ方
	8) 整容の介助	① 髪をとかす ② ひげそり